

2022 年度スポーツライミング神奈川県代表選手・強化選手選考基準

令和 4 年 3 月 18 日

神奈川県山岳連盟

神奈川県代表選手及び強化選手を選考する最終的な権限は神奈川県山岳連盟（以下「本連盟」という。）が有する。選手の選考は、以下の基準に基づき本連盟強化委員会が推薦し、本連盟理事会で承認することで決定する。

国民体育大会スポーツライミング競技神奈川県代表選手

国民体育大会（以下「国体」という。）スポーツライミング競技における神奈川県代表選手の選考について以下のとおりとする。

1 代表選手選考方針

- (1) 行動規範を重視し、神奈川県を代表するにふさわしい選手を選考する。
- (2) 関東ブロック大会を通過し、本国体でも上位入賞の可能性が高い選手の組み合わせを重視する。
- (3) リード、ボルダリングを共にバランスよく取り組む選手を選考する。

2 前提条件

- (1) 公益財団法人日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）の定める国民体育大会参加資格を満たしている者。詳しくは <https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html> を参照。
- (2) 公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会（以下「JMCA」という。）に 2022 年度選手登録をしている者（A 登録か B 登録かは問わない）。

3 選考方法及び選考基準

- (1) JSP0 の定める「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」対象者
ただし、JSP0 より特例措置対象者と公表されるのは例年 6 月のため、原則として県予選に出場すること。県予選とは、第 27 回クライミングコンペ・オール神奈川と第 7 回ボルダリング神奈川カップの両大会のことを指す。
 - ① 両方（リード及びボルダリング）の種目で特例措置対象になっている選手
 - ② 片方（リード又はボルダリング）の種目で特例措置対象になっている選手※ 複数の選手が該当する場合は、第 17 回ボルダリングジャパンカップ（以下「BJC」という。）及び第 35 回リードジャパンカップ（以下「LJC」という。）の成績を勘案し、総合的に判断して選考する。
- (2) 県予選の順位点による選考
順位点とは、順位が単独の場合は順位と同じ値、同着が複数人いる場合は平均順位の値のことである。順位点の計算は両大会にエキスパートクラスで参加している選手内での順位付けで行

う。ただし、上記「2 前提条件」に該当しない選手の順位を除く。

① 県予選の順位点の合計が小さな選手

(例1)	リード	ボルダリング	合計順位点		代表権
A	1位	2位	3		正代表
B	3位	1位	4		正代表
C	2位	3位	5		予備登録

※順位点の合計が小さなAとBを正代表として選出する。

② ①で同点の場合、より小さな順位点を有する選手

(例2)	リード	ボルダリング	合計順位点	最小順位点	代表権
A	1位	3位	4	1	正代表
B	2位	2位	4	2	予備登録
C	3位	1位	4	1	正代表

※順位点の合計は同点だが、より小さな順位点を有するAとCを正代表として選出する。

③ ②でなお同点の場合、ここまでの選考で代表に決定している選手がBJC又はLJCで上位の順位を有している種目で上位をとった選手を優先する。

(例3)	リード	ボルダリング	BJC	LJC	代表権
A	1位	1位	15位	10位	正代表
B	2位	3位			正代表
C	3位	2位			予備登録

※BとCは同点のため、すでに代表権を得ているAのジャパンカップの順位を比較して、順位が高い種目（リード）の順位が上位のBを正代表として選出する。

(3) それでもなお同着がいる場合、県予選及びBJC、LJC、（及び少年カテゴリーの場合は（リード、ボルダリング）ユース選手権）の成績を勘案し、総合的に判断して選考する。

4 選考人数

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の各種別正代表2名ずつ

必要に応じて、成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の各種別予備登録選手1名ずつ

（ただし、条件を満たす選手がその種別で3名に満たない場合はその限りではない。）

5 国体代表選手としての特典

(1) 神奈川県为国体代表選手として選手強化学業の対象となる。

(2) 関東ブロック大会及び本国体への大会派遣費用について、県の規程により助成される。

(3) 強化練習に関わる施設使用料、交通費及び強化合宿の費用等について、規定により一定額助成される。

(4) 選手強化期間中に、県代表選手としてJMSCA主催の大会に出場する際の旅費等について、規定により一定額助成される。

(5) 当該年度中のスポーツ安全保険に加入する。保険料は本連盟が負担する。

2022 年度スポーツライミング神奈川県ジュニア強化選手選考基準

令和 4 年 3 月 18 日

神奈川県山岳連盟

神奈川県ジュニア強化選手を選考する最終的な権限は神奈川県山岳連盟（以下「本連盟」という。）が有する。選手の選考は、以下の基準に基づき本連盟強化委員会が推薦し、本連盟理事会で承認することで決定する。

神奈川県山岳連盟ジュニア強化選手及び強化候補選手

ジュニア強化事業は、神奈川県の国体選手育成等を目的に行われている事業である。ジュニア強化選手の選考について以下のとおりとする。

1 ジュニア強化選手選考方針

- (1) 行動規範を重視し、神奈川県山岳連盟を代表するにふさわしい選手を選考する。
- (2) 将来の国体代表候補として入賞できる実力と強い意欲を持った選手を選考する。
- (3) リード、ボルダリングを共にバランスよく取り組む選手を選考する。
- (4) 将来的に国際大会での活躍が期待できる選手を重視する。

2 前提条件

- (1) 神奈川県内在住・在勤・在学者で神奈川県代表になる意思のある者
- (2) 2005 年 4 月 2 日～2013 年 4 月 1 日に生まれた者（高校 2 年生～小学 4 年生）
- (3) 神奈川県山岳連盟に加入する者（中学生以下は保護者も加入）
- (4) 全国規模の大会等で、神奈川県山岳連盟所属の選手として活動する者
- (5) 神奈川県山岳連盟の主催、主管する大会に積極的に参加する意思のある者

3 選考方法及び選考基準

- (1) 2021 年 5 月～2022 年 6 月に次の JMSCA 主催の全国大会にて準決勝進出以上の成績をあげた者
 - ・ 第 9 回リードユース日本選手権（2021 年 5 月）
 - ・ 第 7 回ボルダリングユース日本選手権（2021 年 12 月）
 - ・ 第 17 回ボルダリングジャパンカップ（2022 年 2 月）
 - ・ 第 35 回リードジャパンカップ（2022 年 2 月）
 - ・ 第 10 回リードユース日本選手権（2022 年 5 月）（※）
 - ・ 第 8 回ボルダリングユース日本選手権（2022 年 6 月）（※）
- ※ 2022 年度のユース選手権において上記の成績をあげた場合は、その時点で(2)以下の条件を満たさなくても強化選手として選考する。

(2) 次年度の少年男女国体代表候補選手

2005年4月2日～2008年4月1日に生まれた者（高校2年生～中学3年生）

県予選のエキスパート（男子、女子）で男女別県内選手1位を優先し、残りを国体代表選考方法と同じ基準で上位若干名を選考

ただし、その選手が国体県代表選手の場合はジュニア強化選手としては選出しない

(3) 将来の少年男女国体代表候補選手

2008年4月2日以降に生まれた者（中学2年生以下）

県予選のエキスパート（ジュニア）で男女別県内選手3位以内に入賞選手のうち若干名を選考

(4) 少年カテゴリーの継続性を保つのに必要と思われる選手

必要があれば強化委員会で協議し、若干名を選考

4 ジュニア強化選手としての特典

(1) 神奈川県での国体代表候補選手としてジュニア強化事業の対象となる。

(2) 強化練習に関わる施設使用料、交通費及び強化合宿の費用等について、規定により一定額助成される。

(3) 当該年度中のスポーツ安全保険に加入する。保険料は本連盟が負担する。

(4) 中学2年生以下は関東小中学生選抜スポーツライミング選手権大会の代表権を得る。

5 ジュニア強化候補選手

前年度のジュニア強化選手は、今年度のジュニア強化選手として選出されなかったとしても、原則として本人が辞退しない限りジュニア強化候補選手として選出する。

「1 ジュニア強化選手選考方針」「2 前提条件」を満たし、「3 選考方法及び選考基準」満たすことができなかつた選手の中から、将来性や本人の意欲等を考慮してジュニア強化候補選手として選出する。

また、けがや病気、学校行事等やむを得ない事情で、神奈川県大会（リード、ボルダリング）の両大会に出場できなかった場合でも、次のいずれかの基準を満たせばジュニア強化候補選手として選出されることがある。

(1) 神奈川県大会（リード、ボルダリング）の出場した方の大会で優秀な成績を収める。

(2) 全国規模の大会に出場し、優秀な成績を収め、強化委員会の推薦を得る。

推薦については随時行うが、いずれの場合も強化委員会で協議し、正式に決定する。

6 ジュニア強化候補選手としての特典

一部の強化練習会などに参加できる。ただし、練習に関わる施設使用料、交通費その他諸費用については自費とする。